

エッセイ 遠藤聡美

もう一度訪れたい富山県
 (ライブとやまティーチインレポートより) ——— 表紙2

特 集 1

県政この一年 ——— P.4
 PIN UP TOYAMA

定置網漁、氷見沖 ——— P.14

特 集 2

一日部長・一日庁議開催 ——— P.16

TRIP 県政

富山土木事務所 ——— P.22

ふるさとみてある記

新湊市 ——— P.24

トヤマギネススポット

災害安全県 ——— 表紙3



Lighting Graffiti あかりのアート展

富山県国際文化センター オルビスで開催 10月16日～10月25日



美しい富山を満喫!



第4回特産王国フェスティバル

県内で作られている特産品を一堂に集めた第四回特産王国フェスティバルが十月二十三日～二十五日テクノホールで開催されました。

会場内には、各市町村自慢の特産品のほか、農村生活改善グループの婦人が開発した加工食品や、農業科を持つ七高校の生徒が作った農産物や花などが展示され、約十二万人の人が「実りの富山」を満喫しました。また、フェスティバル初日の二十五日には、会場内の特設ステージで特産の女王コンテストが行われ、最終選考に残った十人の中から、女王には齊藤佳世子さん(高岡市)準女王には奥野真美子さん(富山市)と中川まり子さん(富山市)が選ばれました。



遠藤 聡美
(ライブとやまティーチン
参加者)



ライブとやま
ティーチン

昨年からはじまったこのイベントは、東京在住の大学生を富山に招待し、富山を体験してもらい、意見や提言をしてもらおうというもの。今年は7月31日～8月2日の3日間、黒部・立山山麓・井波町・利賀村・近代美術館を“体験”してもらいました。

富山の“顔”との出会い

私は、旅が好きで、一人で、あるいは数人で各地を訪ね歩くのですが、その際には、いつも必ずその旅のテーマがあります。共通の大きなテーマは、「人に会う」こと。つまり、その土地で生活を営んでいる人、自分と同じくその土地を訪れにきた人など様々な人々との偶然の出会いを求めて旅にでるといふことです。ですから、場所、すなわち土地そのものは、人との出会いのバック・背景となることが多いわけです。

しかし、今回のこの「ティーチン」は、富山県を見て、肌でふれて、理解するという目的でしたから、背景、全体像である富山県そのものが主題で、私は「富山県にいづく」という感覚でした。

今回、産業、文化、芸術、自然と、富山県のいろいろな素顔と対面できたのではないかと思います。どれも欠かせない大事な顔だと思っていますが、私はとりわけ、文化、なかでも芸術の顔にとっても興味をもっていました。これが、この旅独自の小さなテーマでもあったからです。

井波町には、今なお伝統と歴史をしっかりと受け継いでいく姿があり、利賀村では、歴史という言葉がようやく生まれ、伝統を作ろうとしている躍動感があり、県立近代美術館には、そのどちらとも違う、リアルタイムの芸術が、私達と同時に現在進行形で存在する、どれも私には大変魅力的でした。

芸術に接する時は、それをとりまくものも重要なファクターになると、私は常日頃思っています。その意味では、利賀フェスティバルの舞台は、空、地、水が三位一体となって、普通の劇場では絶対味わうことのできない独特の雰囲気を感じられました。又、美術館も、建物そのものづくり、高さ、広さ、明るさ、展示物の間隔等、本来脇役と思われるようなところも、主役に匹敵するような心くばりが感じられ、より一層ひきたてられたのではないかと思います。

このような、空間をふんだんに使った空間表現のうまさ、物理的に有利な点があるともいえると思いますが、東京など都心にはもはや真似のできない富山県の強みではないでしょうか。話題が、「文化」一つに集中してしまいましたが、富山県は、いろいろな顔をもっています。ですから訪れる人々に、何か一つインパクトを与えられるのではないのでしょうか。

「もう一度訪ねたい」これが、旅を終えての卒直な感想です。今度訪れた時、富山県はどんな素顔を見せてくれるのでしょうか。



佃 義範氏
ツクダ社長(富山市出身)

イメージディレクター懇談会開催

富山県のイメージアップのあり方を探るイメージディレクター懇談会が十月二十八日、東京で開催されました。



山田 允夫氏
NHKサービスセンター全編長、元NHK富山放送局長



安孫子素雄氏
漫画家(氷見市出身)



辺見じゅん氏
ジャーナリスト作家(富山市出身)



中沖知事

この懇談会は、富山県にゆかりのある著名人が知事を囲んで富山県のイメージアップについて意見を交換しあうもので、今年が四回目です。

ディレクターからは、「富山県を愛する人々で富山県ファンクラブを作ったらどうか。イメージアップにも国際性が不可欠。留学生を富山に招待するティーチインなどを実施できないか。」などの意見が出されました。



高野悦子氏
岩波ホール総支配人(黒部市出身)



木崎さと子氏
芥川賞作家(高岡高校卒)



長澤忠徳氏
デザインディレクター(富山市出身)



日中関係 さらに前進



これは、県日中友好団体連合会(会長 中沖知事)の主催で開催されたもので、章曙中国大使はじめ、両国関係者三百五十人が出席しました。

章中国大使は、「中国の改革と開放政策」と題して講演。約一時間半にわたり、日中両国の経済交流の必要性などについて語りました。

このあと祝賀会に移り、章中国大使、中沖知事さらには中国永住帰国者や留学生などが、なごやかに歓談しました。

富山県は、遼寧省と友好県省を締結するなど、中国とは非常に親しい関係にあります。

今回来県した章中国大使も、福光町の松村記念館や富山医科大学など中国とゆかりのある所を訪問。富山と中国との友好関係は、さらに深まったようです。

日中の国交が正常化して、今年で十五周年を迎えます。これを記念した講演会と祝賀会が富山市内で開かれました。

日中国交正常化15周年記念講演会・祝賀会

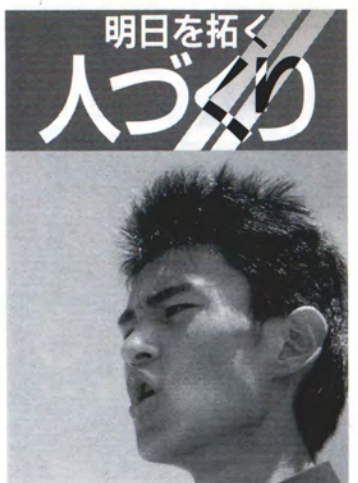
県政、この年



東京への一極集中から、多極分散化が叫ばれている今日、地方は、その特色を生かした魅力ある顔を持ち発展していくことが大切です。

富山県では、二十一世紀への地域開発のモデルともなるべき「顔づくり」に向けて、この一年間多彩な事業を展開してきました。

富山県民総合計画の「明日を拓く人づくり」「魅力ある郷土づくり」「活力ある産業づくり」の三つの施策の柱に沿って、この一年の動きを振り返ってみましょう。



健康づくり

「日本一の健康県」をめざした県民ヘルスプランを策定し、県民総ぐるみの健康づくり運動を展開しました。

スポーツ・レクリエーション関係では、総合体育センターの中体育館・研修棟や空港スポーツ緑地のオープンなど施設の整備を進めました。

また、後天性免疫不全症候群（エイズ）に関する相談、検査体制を整備するなど疾病予防に努める一方、県立中央病院改築の基本構想を策定し、救急医療情報システムを本格稼働させるなど医療の充実についても積極的に取り組みました。

社会福祉の充実

家庭・地域社会・施設が一体となった地域総合福祉の推進に努めました。

高齢者が積極的に地域社会に参加し、いきいき長寿社会を築くため、シルバークエストイバルを開催したほか、障害のある人に対する施策として、県立新生園、高岡ろう学校の改築に着

主な出来事 (86年12月～87年11月)

'87/1	'87/12
24	2
23	3
16	5
14	20
27	21
25	25
	31

いきいき富山日本海鍋まつり



(1月16日～18日、高岡古城公園)
高岡特産の銅・アルミ製の鍋で富山湾の味覚を楽しむもの。約五万五千食の鍋料理を売り尽くした。

スノー愛ランドトヤマ

(1月24・25日、テクノホール)
冬のくらしにおける生活用品、住まい、食べ物などの展示・即売のほか「雪と楽しむ暮らしの創造」と題したシンポジウムも開催された。



手するなど施設整備も進めました。

生涯学習の推進

新大学構想については、基本計画の推進など構想の具体化のため、県立大学創設準備室を設置するなど諸準備に取り組みました。

県立総合大学校（仮称）についてもその創設に向けて準備を進めました。

文化の県づくり

埋蔵文化財センターや教育記念館を整備し、立山博物館の基本構想を策定したほか、県民総合博物館構想の検討を進めました。

県立近代美術館では、第三回富山国際現代美術展や「北欧デザインの今日―生活の中の形」展などの各種企画展を開催、芸術鑑賞機会の増大を図りました。

若者と婦人の力を社会に

青少年の健全育成のため、昨年に引き続き、「青年の日」シンポジウムを開催しました。

また、「二十一世紀をみざすとやま女性プラン」を策定し、婦人のもつ豊かな能力と情熱を地域社会に生かせるように努めました。



心ふれあう快適な暮らしの実現

きれいで豊かな環境の保全のため、クリーンウォーター計画（水質環境管理計画）を策定しました。

また、県民総参加で、まちやむらを美しくする「ふるさと大クリーン作戦」などを通じて県土美化活動も強力に推進しました。

花と緑の県づくりについては、県民だれもが気軽に楽しめる「とやま森林浴の森」を選定しました。

魅力ある地域づくり

県の行政施策に文化性を導入するとともに、すぐれた景観づくり事業も積極的に推進しました。

雪対策については、総合雪対策基本計画に基づき克雪から利雪にわたる総合的な施策を展開、克雪タウン計画事業を推進したほか、「スノー愛ランドトヤマ」などのイベントも開催しました。

2

1 スノーサミット「新しい雪国を考へる」

7 近代美術館 美との対話87（～4月30日）

19 国土利用計画地方審議会

25 2月定例県議会（～3月13日）
28 救急医療情報システム運用開始

17 生涯教育推進会議

18 活力ある富山県農業の未来を語る知事を囲む中核農業者懇談会

24 高等教育機関整備推進委員会提言

26 総合開発審議会女性プラン最終提言

27 公文書館竣工式

31 県民ヘルスプラン提言

1 情報公開制度スタート

3 富山県議会議員選挙告示

8 高岡パト雇用センター開所式

公文書館竣工

（3月27日 富山市茶屋町）

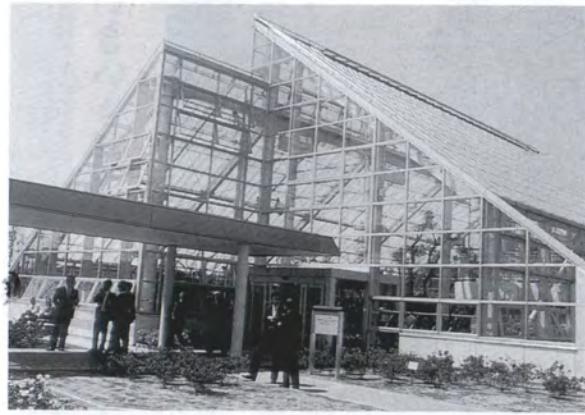
公文書などを保存・展示するほか、映像ディスプレイを用いて県政をわかりやすく紹介している。



花総合センター（エレガガーデン）オープン

（4月24日 砺波市高道）

花の栽培技術の紹介や、草花・球根の見本展示などを行い、花と緑に関する情報の発信基地となるもの。



4

10 いきいき富山観光キャンペーンスタート

12 富山県議会議員選挙投票日

13 近代美術館 下保昭展（～5月17日）

18 自動車税センター竣工式

23 知事のまちまわり・語るつどい（立山町）

24 花総合センター竣工式

27 空港スポーツ緑地開園式

6 とやま賞贈呈式

7 櫻平ヒジターセンター竣工式

8 デビスカップ東洋ゾーン20回戦（総合体育センター～5月10日）

9 富山県植樹祭（小杉流通業務団地）

9 全国テクノポリスシンポジウム

13 総合雪対策推進会議

全国テクノポリスシンポジウム

（5月9日 県民会館）

全国から千四百人が参加。評論家の竹村健一氏をコーディネーターとしたパネルディスカッションなどで意見を交換した。



生活基盤の充実

住宅対策については、住みよい家づくり資金の融資対象を拡大し、快適な住宅の普及に努めたほか、国際居住年にちなんで「すまいのシンポジウム」を開催、その意義を広く啓発しました。

また、有峰ふるさと自然公園国民休養地および黒部峡谷樺平にビジターセンターを開設し、富山県のすぐれた自然の保全と利用促進を図りました。

総合交通体系の整備

北陸新幹線については、富山県等の積極的な働きかけにより、整備新幹線の建設凍結を決めた閣議決定の廃止等の決定がなされ、本格着工に向けて一歩前進しました。

富山空港については、運用時間の延長を実施し、第三種空港としては全国で初めての十三時間体制を整えました。

また、婦中大橋有料道路の開通など、総合的な道路交通網の整備にも努めました。

国際化時代への対応

第一回富山県遼寧省友好交流促進会議を開催し、両県省の相互理解と友好関係を深めました。

また、「マリエとやま」内に国際文化センターを設置するなど、国際交流活動を一層推進しました。



技術立県をめざして

工業技術センターなどの試験研究機関に客員研究員制度を設け、研究機能の人的充実を図るとともに民間研究所立地奨励制度を創設するなど、研究開発基盤の一層の充実を図りました。

また、バイオ産業振興協会の設立・運営に対し積極的に支援をし、林業技術センターについては、基本構想がまとまり、今後さらに整備を続けていきます。

農林水産業の振興

生産性の高い農業の実現のため、農地の流動化や中核農家を中心とした地域ぐるみの営農体制を進めるとともに、バイオテクノロジーを応用した技術開発にも取り組みました。

また、花の生産振興と花に親しむ意識の高揚をめざし、花総合センターがオープンしました。

5 14 富山県・遼寧省友好交流促進会議(5月15日)

18 植物公園構想懇談会

19 上市川第三発電所竣工式

20 「青年の翼・婦人の翼」結団壮行式(ハンガリー・スイス(6月1日))

23 近代美術館 4・G・Dマークとポスター展(6月21日)

5 1 有峰ビジターセンター竣工式 県政モニター会議

6 第42回県展(6月12日)

12 いきいきとやま観光と物産まつり

16 富山県伝統的工芸品展(6月14日)

19 知事のまちまわり・語るつどい(入善町)

25 6月定例会議(6月30日)

7 1 とやまトレードフェア'87(6月28日)

7 富山空港運用時間延長

1 薬用植物指導センター竣工式

2 新湊漁港(東地区)開港式

4 北陸新幹線着工促進富山県民協議会総会・対策連絡協議会総会

9 一日外務省

14 近代美術館 国際現代美術展(6月20日)

24 高度情報化推進会議

31 知事のまちまわり・語るつどい(城端町・井口町)

8 ニューメディアショー(7月26日)

6 地方議会シンポジウム

3 新しい産業基盤の整備構想委員会

8 デザインコンベンション(8月1日)

6 ライフとやまティーチン(8月2日)

3 婦中大橋開通式

8 知事のまちまわり・語るつどい(小矢部市)

8 有峰フェスティバル(8月20日)

第一回富山県・遼寧省友好交流促進会議

(5月14・15日 県民会館)



商工・農林水産など六つの分野にわかれて両県省の友好交流のあり方について具体的な意見の交換を行った。



うるおいある環境づくり事業

富山市や高岡市の中心部は、電柱の地中化・道路のカラー舗装化が進み、すっきりとした街並みに生まれかわった。



国際文化センターオープン

(9月12日 マリエとやま)



国際交流ラウンジや青年サロンなどの交流スペース、絵のどる時計台やビデオブースなどの情報提供スペースがある。円形小ホール「オルビス」では「あかりの아트展」などのイベントが開催され人気を呼んだ。



工業の振興

テクノポリス建設の推進をめざして、新しい産業社会に対応するための基盤整備の検討を行ったほか、全国テクノポリスシンポジウムを開催しました。

また、県単独融資や下請中小企業対策を拡充するなど中小企業の振興にも努めました。

第三次産業の振興

観光の通年化のため、いきいき富山冬の旅キヤンペーンを実施、日本海鍋まつりなど様々なイベントを繰り上げたほか、コミュニティマー卜事業を推進するなど、商店街機能の高度化・活性化を図りました。

雇用の安定

高岡市にバート雇用センターを設置するなど雇用の援助に努めました。

職業能力開発については、富山高等技能学校を中心とした富山職業能力開発力レッジの整備に着手しました。

施策の実施 のために

財務会計オンラインシステムの開始、許認可事務の合理化などを通じ行政改革を推進しました。

また、県民に開かれた県政を推進するため情報公開条例を施行するとともに、公文書館がオープン。県のもっているいろいろな情報を提供できる体制を整えました。

そして、県民の皆さんに県政を知っていただくために、新聞・テレビ・ラジオ等を通じた広報活動をすすめたほか、県民の皆さんの声を県政に反映させるために、知事のまちまわり・語るつどい、県政モニターなどの公聴活動を推進しました。

8

青年の日シンポジウム

15 富山県戦没者追悼式

17 ヤング創造フェスティバル
(8月20日)

21 知事のまちまわり・語るつどい(八尾町・細入村)

4 富山県総合防災訓練

5 障害者雇用促進キャンペーン

7 大学等求人企業説明会

10 知事のまちまわり・語るつどい(福岡町)

11 富山県国際文化センター竣工式(オープン 9月12日)

16 近代美術館 北欧デザインの今日―生活の中の形展
(10月23日)

10 9月定例県議会(9月30日)

1 シルバーフェスティバル
(10月3日)

3 とやまテクノフェア'87
(10月5日)

6 総合体育センター研修棟・中
体育竣工式

9

6 とやまヘルストピア推進大会

8 富山県育樹祭(朝日町)

9 スムアップとやま展
(10月12日)

13 総合博物館構想基本構想策
定委員会

15 知事のまちまわり・語るつど
い(福光町)

18 富山県駅伝競走大会

20 知事のまちまわり・語るつど
い(大山町)

22 一日部長(11月6日 一日庁議)

23 特産王国フェスティバル
(10月25日)

28 イメージディレクター会議
(東京)

31 近代美術館 杉山寧展
(12月13日)

9 知事のまちまわり・語るつど
い(氷見市)

11 いきいき富山フェスティバル
(東京 12月3日)

10

6

6

6

6

6

6

6

6

6

6

6

6

6

ヘルストピア推進大会(10月6日 県民会館)

アイススケートの渡部絵美さんらがパネラーとなった「健康サミット」一階ロビーに特設された「健康づくりコーナー」などに大勢の人が参加、健康についての認識を新たにした。



総合体育センター中体育館・研修棟竣工 (10月3日 富山市秋ヶ島)

これで総合体育センターの全施設が完成し、4月にオープンした空港スポーツ緑地とあわせ、日本海側随一の一大スポーツゾーンとなっている。



北欧五ヶ国の現代デザインとクラフトを紹介するもの。9月17日には、アイスランドのフィンボガドチル大統領が来館し、話題を呼んだ。

「北欧デザインの今日―生活の中の形」展 (9月12日～10月23日 県立近代美術館)



立山山麓ゴンドララスキー場

立山山麓ゴンドララスキー場が十二月十五日、スキー場開きをします。今冬の最大のトピックスは、なんと、今冬も共通リフト券の登場。ゴンドラ、極楽坂、あわすの各スキー場のリフトが共通のリフト券で利用できるようになりました。また、ゴンドラスキー場では、ゲレンデ、コース案内が整備され、各種イベントも盛りだくさん。無料スキーバスも富山・高岡両駅前から運行し、足の確保も十分です。冬の日、みんなでエンジョイできるゴンドララスキー場ですごしてみませんか。



まっ白なラブシーン



- イベント**
- 12月15日(火) スキー場開き
 - 12月19日(土) スキーファン感謝デー (リフト及びゴンドラ午後半日無料)
 - 1月15日(祝) ゴンドラ誕生祭
 - 2月20日(土) 第三回いきいき富山自作ソリ競技大会
 - '88ゴンドラ雪の祭典
 - (びっくりスローム宝さがし・歌謡ショー!) (雪の女王コンテスト・花火大会ほか)
 - 3月27日(日) 第九回セゾン杯立山山麓ファイナルスローム大会 (富山県スキー連盟公認)
- 無料バス運行日** 富山・高岡駅前午前八時出発
金・土・日・祝日および祝日の前日
- ナイター営業** 午後五時～午後九時

③スキー場共通リフト券料金

区分	大人	小人
共通8回券	1,200円	950円
共通12回券	1,800円	1,400円
チェア・リフト共通1日券	2,500円	1,900円
リフト・ゴンドラ共通1日券	3,000円	2,300円

・ゴンドラは4コマで1回乗車可
・チェアは1コマで1回乗車可

④ゴンドラリフト料金

区分	大人	小人
ゴンドラ	700円	500円
リフト	1,200円	950円

⑤駐車場利用料金

区分	普通(1人乗)	大型(1人乗)	大型(2人乗)
駐車券(1回当日限り)	500円	1,500円	2,500円

交通案内

鉄道利用/富山駅下車一地下鉄電車「立山線」のりかえ(特急50分)一立山駅(立山駅一スキーバス(5分)一ゴンドラ駅
北陸自動車道利用/関西、福井、石川方面からお越しの方は、北陸自動車道「立山インター」を経てゴンドラスキー場へ。
マイカー利用/マイカーでお越しの方は、大山町小見経由、立山町芦峯寺経由の両方法があります。大山町小見線の混雑が予想されますので立山町芦峯寺経由が便利です。スノータイヤの着脱とチェーンの用意を。



12月15日
オープン



あなごんな あえるがね

上平村上平中学校の作品

この展覧会は、子どもたちにとつて美術館がより親しみやすい場となるよう、県立近代美術館が開館した昭和五十六年度から毎年開催されているものです。

七回目を迎える今回までに、県下の小・中学校の半数以上にあたる二百二校が出品し、制作に参加した児童・生徒の総数は一万六千人にも及びます。美術館と子どもたちをつなぐユニークな企画として、昭和五十七年にはモビール児童文化賞を受賞するなど全国的にも高い評価を受け、また、美術館の年中行事として、大勢の人々に親しまれています。

今回も小学校二十二校、中学校五校そして県立高岡養護学校を加えた二十八校が参加しました。子どもたちの夢や希望、空想の世界、郷土の豊かな自然、歴史や伝統行事など、それぞれに工夫をこらした意欲作が出品されています。

「わたしたちの壁画'88」

県立近代美術館

- ◆開催期間/12月20日(月)～1月31日(日)
- ◆場所/県立近代美術館(富山市西中野町1丁目 ☎0764・21・7111)
- ◆入館料/一般=150円、高校・大学生=120円、小・中学生=80円
※月曜日・祝日の翌日(祝日が月曜日のときは火曜日)、年末・年始(12月28日～1月4日)は休館です。



出品校

学校名	作品名	制作学年
高岡市立東五位小学校	ひまわり畑の下に ひみつのあながあたら...	2年
富山市立五福小学校	さわやかな笑顔 はすむ声 白鳥っ子の全校活動	4年
入善町立上青小学校	自然がいっぱい 沢杉	5年
富山市立月岡小学校	みんなの立山、明るいまつり	5年
新湊市立作道小学校	夢・創り未知	5年
高岡市立下関小学校	国宝瑞龍寺	5年
滑川市立田中小学校	行田の森で遊んだよ	1～5年(2名)
大門町立榑田小学校	大沢山は友だち	1～6年(94名)
水見市立阿尾小学校	ふるさと阿尾	1～6年(154名)
水見市立岩瀬小学校	わたしたちの岩瀬	1～6年(37名)
水見市立八代小学校	花でつなぐ八代の子	1～6年(59名)
小矢部市立岩尾瀬小学校	わたしたちの札幌時計台小学校	1～6年(36名)
利賀村立坂上小学校	われら坂上っ子	1～6年(17名)
大山町立牧小学校	がんばる牧の子	3～6年(7名)
八尾町立室牧小学校	室牧の四季	4～6年(28名)
婦中町立朝日小学校	いっぱい、とれたぞ	5・6年(33名)
朝日町立山崎小学校	思い出のキャン	6年
魚津市立村木小学校	埋没林幻想	6年
立山町立高野小学校	立山登山(未明、雨の中の登山)	6年
山田村立山田小学校	しきのさこ わたしたちの郷土	6年
富山市立池多小学校	はばたく白鳥	6年
富山市立水橋中部小学校	水橋 橋祭り	6年
黒部市立高志野中学校	フログレシブ・レビティーション (前進的な繰り返し)	1～3年(19名)
舟橋村立舟橋中学校	自然 Funerary	1～3年(74名)
富山市立山室中学校	幸福の国	1～3年(39名)
高岡市立牧野中学校	こころのまはり (校歌の1節より)	1～3年(10名)
上平村上平中学校	わたしたちのふるさと	1～3年(39名)
富山県立高岡養護学校	動物大行進	小学部 32名



定置網漁

(氷見沖)

朝もやのなか網を曳く

男たちの掛け声が

冬のさかなたちを目覚めさす

銀の鱗がさわぎだし

やがて

水面にはねあがる

Pin Up TOYAMA



一日部長・一日庁議開催

10月23日・11月10日

十月二十三日・十二月六日の両日、一日部長・一日庁議が行われました。

これは、県民の皆さんに県の施策をよく認識してもらったうえで、県政に対する意見や要望をいただくことを目的としています。



企画県民部長 本田百合子
 昭和19年生、富山市、富山県立中央高等学校卒業、富山大学経済学部卒業、公認会計士
 15 14 12...00 富山県庁 2F 会議室
 10:00 富山県庁 2F 会議室
 10:00 富山県庁 2F 会議室



農林部長 五嶋博文
 昭和14年生、大田町、富山県立中央高等学校卒業、富山大学農学部卒業、農学博士
 14 13 12 11...20 富山県庁 2F 会議室
 10:00 富山県庁 2F 会議室
 10:00 富山県庁 2F 会議室

ここでは、一日部長になられた方が各部署の主要施設の視察を行った上で開かれた、一日庁議の概要を紹介します。

富山はまだまだPR不足

企画県民部長
本田百合子
 (公認会計士)



私は、富山を愛する者の一人として、一日部長に選ばれたという自負があったのですが、今回、いろいろな施設を見せていただく知らない所がまだまだたくさんありました。

これは、PR不足も原因の一つだと思います。

県をPRするパンフレットはたくさんあるのですが、全体が体系化されていなく、わかりにくい面もあります。また、パンフレット以外でも、若い人に県政バスを利用してもらうたり、ニューメディアを用いてPRするなど富山の良さを浸

開かれた県政は、県民みんなの手で

総務部長 北山武猛
 昭和25年生、津市、富山県立中央高等学校卒業、富山大学経済学部卒業、富山県立中央高等学校教諭
 15 14 13...00 富山県庁 2F 会議室
 10:00 富山県庁 2F 会議室
 10:00 富山県庁 2F 会議室

厚生部長 笹川則子
 昭和22年生、小次郎市、富山県立中央高等学校卒業、富山県立中央高等学校教諭
 13 11 10...00 富山県庁 2F 会議室
 10:00 富山県庁 2F 会議室
 10:00 富山県庁 2F 会議室

米田祐康 商工労働部長
 昭和19年生、富山市、富山県立中央高等学校卒業、富山県立中央高等学校教諭
 15 14 11...20 富山県庁 2F 会議室
 10:00 富山県庁 2F 会議室
 10:00 富山県庁 2F 会議室

農業水産部長 五箇献一
 昭和7年生、高岡市、富山県立中央高等学校卒業、富山県立中央高等学校教諭
 14 13 11...30 富山県庁 2F 会議室
 10:00 富山県庁 2F 会議室
 10:00 富山県庁 2F 会議室

企業局長 佐伯日登美
 昭和7年生、大田町、富山県立中央高等学校卒業、富山県立中央高等学校教諭
 14 13...30 富山県庁 2F 会議室
 10:00 富山県庁 2F 会議室
 10:00 富山県庁 2F 会議室

土木部長 酒井鉄夫
 昭和11年生、富山市、富山県立中央高等学校卒業、富山県立中央高等学校教諭
 14 13 12...00 富山県庁 2F 会議室
 10:00 富山県庁 2F 会議室
 10:00 富山県庁 2F 会議室

警察部長 安念七一十
 昭和13年生、富山市、富山県立中央高等学校卒業、富山県立中央高等学校教諭
 14 13 12 11...00 富山県庁 2F 会議室
 10:00 富山県庁 2F 会議室
 10:00 富山県庁 2F 会議室

透させる方法はいろいろあると思います。富山の人は、他県に富山をPRするのあまり上手ではありません。

あまりにも身近にあるため、ついっかりしているのかもしれないが、水、味、自然など、富山には全国に誇れるものがたくさんあります。

雪に関して、富山ではハンディキャップと見る人が多く、暗いイメージでとらえがちなのですが、太平洋側の人は、雪といえば、楽しいというイメージを思い浮かべるはずですよ。

今までハンディキャップだと考えていたものを逆に、人を集める呼び物、にかえるくらいの発想の転換があれば、富山のイメージはさらに明るくなると思います。

また、私は、富山県を表現するのに、左手を見せて、親指が能登半島、掌の中心が富山県ですと説明しています。皆さんもPRして下さい。

外国人にも住みよい富山を

総務部長
北山 武猛
 (青年海外協力隊を育てる会)



情報公開制度が整った事は、大変結構だと思っておりますが、県民の利用状況が今一歩だと聞いて残念に思いました。一般の人は、この制度のあることをよく知ら

次ページへ

ないのだと思います。

また、県の行う事業を、繁華街の電光板など、目立つものを利用し、予告ニュースとして流すと、多くの人に理解してもらえらると思います。

国際交流に関しては、外国の人が、富山にきて安心して暮らせるようにすることが大切です。

そのためには、案内板を整備したり、いろんな窓口に外国語のわかる人を配置したり、外国人用の宿泊施設を作るなどして、きめの細かい対応をすることが必要です。

また、青年海外協力隊の経験者に通訳をお願いし、開発途上国との交流を深めていくのもよい方法だと思います。



厚生部長
笹川 則子
(ヘルスボランティア)

健康づくりのバックアップを

厚生行政は、私たち家庭の主婦にとっても密接にかかわってくるものですが、健康づくりとなると結局は個人レベルの問題になってきます。

富山県では、「日本一の健康県」をめざしているというのですが、塩分摂取量一つみても、まだまだ問題は多いと思います。

各家庭で、健康を意識した食生活を心掛け、また、行政は、適切な情報を流すなどして県民の健康づくりをバックアップするというふうにしていけばよいと思います。

住民検診については、県内各地域の総合病院などで、いつでも自由に健康診断ができるようにしてほしいと思います。

また、健康増進センターのコンピュータを各病院や保健所などにもつなげて、健康に関するデータをいろんな所で検索できるようにするというのはいいかなもてでしょうか。



商工労働部長
米田 祐康
(株ニッポンジン社長)

海と山を観光ゾーンに

富山県は、きれいな海と雄大な山が箱庭のようにそろうっていて、観光ルートとしては、最適だと思っています。

海については、これからは、海洋スポーツが滞在型レジャーとして盛んになってくると思いますので、マリーナを整備するなどして多くの人が楽しめるようにすれば、すばらしいと思います。

また、山については、スキー場の整備も一つの手ですが、私が提案したいのは、学会の誘致です。立山山麓の自然の中に、全国から集まった人が討議できる施設を作れば、富山のイメージアップにも大いに役立つはずですよ。

また、交響楽団の夏合宿を立山に誘致して、一般の人もそこにいければ、満天の星空の下で音楽を聞くことのできる「音楽村」を作るのもすばらしいですね。



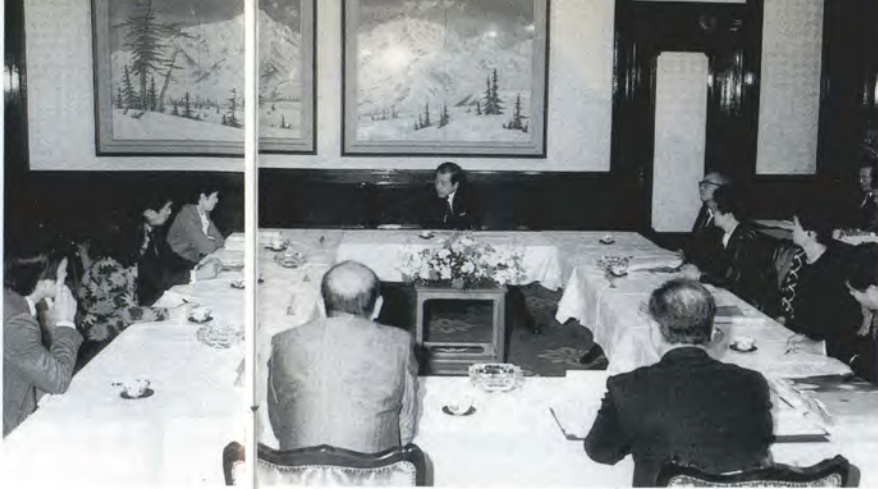
農業水産部長
五箇 献一
(株チューリップ社長)

販路拡大が農業発展の鍵

富山県の農業は、米が中心になっていて、価格が不安定になったり、作柄が悪かったりすると、中小の農家は成りたつていかなくなりませう。

そこで、米以外の農産物の生産も重要になるのですが、今回見せていただいた、食品研究所・畜産試験場などの試験研究機関は、生産者や加工業者がうまく利用して、農業発展のための富山県の取り組みがよく理解できました。

また、これからは、生産面だけでなく販路の拡大も重要な課題になってきます。スーパーマーケットなどにも働きかけて、生産者が安心して製品を開発できるように後押しするとともに、富山の「いい味」を全国にどんどんPRして、例えば、大衆料理のグルメの会などを企画していろんな人においしい料理を味わってもらうことも大切だと思います。



新緑を富山のシンボルカラーに



農地林務部長
五十嶋 博文
(富山県自然保護指
導員)

「日本一の花と緑の県」ということで、富山県には、いたるところに緑があります。そこで、新緑を富山のシンボルカラーにすればどうでしょうか。そうすれば、県のイメージづくりにも役立つと思います。

また、これは長野の人に聞いたのですが、長野では冬季オリンピックを熱心に誘致していて、その実現のためにも是非新幹線が必要だということです。長野でオリンピックが開催されれば、富山にもメリットは多いはずですから、そうした意味でも北陸新幹線は、なんとか実現させてほしいと思います。

富山県の活性化には、大学を作り、若者をたくさん受け入れることも不可欠です。学園都市を作り、若者たちの多い富山県を作っていくってほしいです。



土木部長
酒井 鉄夫
(富山県屋外広告物
審議会委員)

これからは発想力の時代

北陸自動車道の全線開通が間近になるなど富山県では道路の整備が進んでいますが、その結果、富山県が通過県となってしまう恐れもあります。

それを防ぐためには、他県の人にも大きなインパクトを与えるような魅力ある都市を作り上げていく必要があると思います。

また、富山県の施設は、よく整備されているとは思いますが、不完全な施設の中で、それぞれが工夫して何かを見つけるといふやり方もこれからは大切ではないでしょうか。整備されたスペースにいても結局は、それ以上のものを求めてしまい悪循環に陥ってしまします。人間が本来持っている力を生かすためにも、こうしたことは重要だと思えます。

特に、これからは発想力の時代です。こうした環境でもまれれば、きつと強い人間になると思います。



企業局長
佐伯日登美
(県政モニター)

県外にも富山PRの拠点を

最初に和田川水道管理所を見させていただいたのですが、日頃何げなく飲んでいるおいしい水が、厳しい水質管理のおかげで確保されているのを知り、とてもたのしく思いました。

また、県営 Gondolas スキー場は、雄大な立山をバックにした、富山県の有力な観光資源です。民間活力も大いに利用して、県外からもたくさんの人を引き入れることのできる魅力ある場所にしてほしいと思います。

Gondolas スキー場のほかに、県内には素晴らしい所が多いのですが、それらのPRについては、こちらから一方的に出していくだけのものです。これからは、県出身の他県在住者を活用するのもよい方法だと思えます。

いろいろな施設を見させていたいただきましたが、中でも、総合体育センターは、すばらしい設備がたくさんあって、もっと多くの人に利用してほしいと思います。学校教育については、まず、高校だけでなく、義務教育の段階から、もっと多くの外国人教師を受け入れ、生徒の国際感覚を育成してほしいと思います。また、富山県では、高校教育で、音楽、体育などの特別コースを設けていますが、これからの社会に対応するために、「福祉コース」を新たに設けてはどうでしょうか。



教育長
安念とし子
(富山県体育指導
委員)

高校に福祉コースを設けては

知事
皆さん、いろいろ貴重なご意見・ご提言をいただきどうもありがとうございました。さっそく検討させていただきます。県政に反映させていきたいと思えます。きょうは、どうもありがとうございました。

応援します、かしこい暮らし

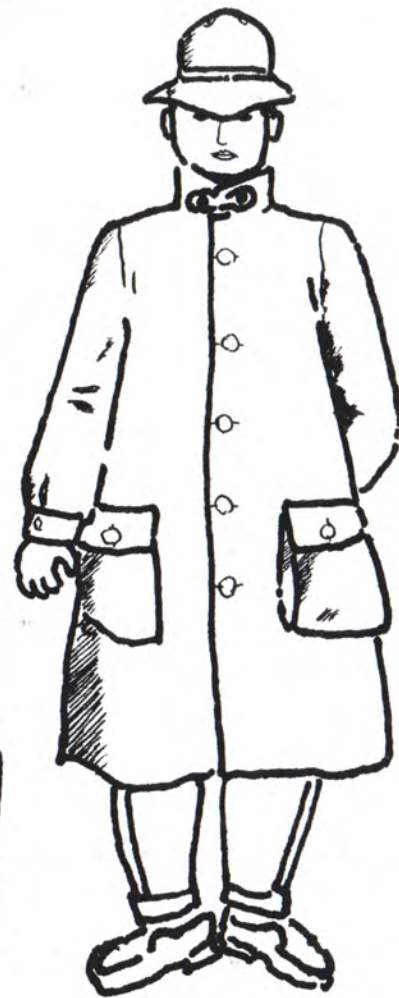
冬の巻 知恵の生活

師走の訪れとともに、まちなんとなくあわただしさを増してきました。
 年末・年始の準備に忙しい方も多いことと思います。でも、こんな時期こそ、わたしたちの「暮らし」を見直してみる良い機会なのかもしれません。
 冬のくらしと消費生活のワンポイントアドバイス、忙しい手をちよっと止めて、どうぞご覧ください。

冬のくらしのメンテナンス

1. 冬の衣類の中間手入れ

毎日のように着ている冬のコートやスーツの汚れが気になる頃です。春までの中間手入れとして、簡易クリーニングをしてみましょう。
〈汚れやすい場所〉
 冬の衣類は、色の濃いものが多いので、ちよっと見ると汚れているのかどうかわかりません。でも明るい場所などでよく見ると、衿の折り山、袖口、ポケットの口、ボタンホール、ズボンのすそなど汚れが目立ちます。



〈ほこりをたたく〉
 まず、裏返しにし半日ほど日に当て、湿気をとります。次に、表に戻してから、ふとたたきを使って、衿、袖、身ごろと上から順にほこりをたたき出します。
 肩の縫い目や袖つけの部分はほこりが入り込んでいるので、特によくたたきます。タオルを折ってこれを裏側から当て、その上からたたくと効果的です。たたき終わったら、ブラ

シをかけます。肩や袖つけの縫い目の部分は縫い目にそってブラシをかけます。ポケットはひっくり返し、ごみやほこりを抜いていかに払いします。
〈洗剤でふく〉
 中性洗剤を、約四十度の湯二リットルに小さじ一杯入れます。この洗剤溶液に、タオルをつけてしぼり、衿、袖、身ごろの順に織り目にそってふきます。しみの部分は、タオルでつまみとるようにしてふきます。ふき終わったら、きれいな湯でタオルをしぼり、全体を二回ふいて洗剤分をふきとります。最後はハンガーにかけ、風通しのよい日陰に干して、湿気をとります。

2. 冷蔵庫の大掃除



冷蔵庫の中は、好冷菌という細菌やカビの繁殖しやすい場所です。庫内の整理も兼ねて定期的に掃除をしましょう。
〈外側をふく〉
 安全のため、掃除の前に差し込みプラグは抜いておきます。塗装面はからぶきて十分ですが、どうしても落ちない汚れは台所用洗剤を薄めた液に柔かい布を浸し、軽くしぼってふきます。(清めふき)
〈庫内の掃除〉
 仕切り棚やドアポケットなどは、全部取り外してから、庫内をさっとふきます。次に、台所用洗剤を薄めた液をつけてふき、そのあと、清めふきをします。
 また、逆性石けんや塩素系漂白剤で庫内をふくと、細菌やかびの繁殖が防げます。
 ドアパッキングのひだの汚れは、放っておくとゴムがもろくなり、冷蔵効果が弱まりますので、念入りに掃除しましょう。

過大な景品付き販売や虚偽、誇大な広告が無制限に行われると、消費者はこのような広告につられて、不用不急な買物をしたり品質の良くない商品を買わされたりします。また、景品代金が商品価格に上乗せされる場合もあります。そこで、このような行為を防止するために、不当景品類及び不当表示防止法(略して、「景品表示法」といいます)により、県と公正取引委員会が協力して規制・監視をしています。

当表示がたくさんあります。違反事例を紹介しましょう。
違反事例
 ①お買い上げ三千円毎に、抽選で特賞(ハワイへ)招待!
 (懸賞景品は、購入価額が三千円の場合、最高一万円まで)
 ②二十万円以上お買い上げの方全員に、三万円相当の自転車をつりせんと!
 (総付景品は、購入価額の十分の一相当額まで)
 ③全商品、メーカー希望小売価格の5割引
 (メーカーが希望小売価格を提示していないのに、そうしているかのように表現している場合)
 (不当な二重価格表示)
 なお、景品類の提供制限については、表をご覧ください。

ご存知ですか? 景品表示法

■懸賞による景品額の提供

懸賞の種類	購入価額	懸賞による景品類の最高額 取引価額の20倍	景品類の総額の最高限度
一般小売店等の場合	500円未満		懸賞によって販売しようとする商品の売上予定価格の2%
	500円以上50,000円未満	10,000円	
	50,000円以上100,000円未満	30,000円	
	100,000円以上	50,000円	
共同懸賞	取引価格に関係なく	200,000円	同3%

・売上予定総額とは、セール期間中の売上予定総額をいいます。
 ・共同懸賞とは、商店街等で中元・歳末時に実施する懸賞をいいます。

■総付景品の提供

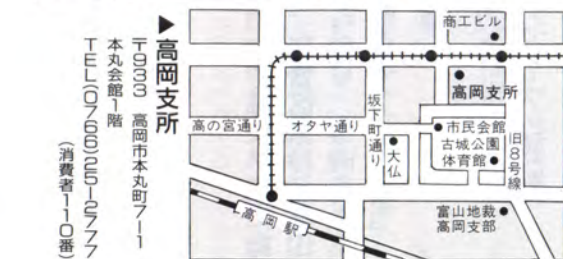
購入価額	景品類の最高額
1,000円未満	100円
1,000円以上500,000円未満	取引価額の1/10
500,000円以上	50,000円

・総付景品とは、①商品の購入者全員に②入店者全員に③申し込み又は入店の先着順に提供する景品をいいます。

消費生活センター

みなさんのご利用をお待ちしています。

消費生活に関するさまざまな情報をお知らせするとともに相談に応じられているのが富山県消費生活センター。八名の相談員が、くらしの中のいろいろな問題について、解決のお手伝いをします。
 また、その他にも、キーを押して情報を選択しながら学べる「Q&A」コーナーやグループでくつろぎながら話のできるミーティングルームなど、みんなで生活のあり方を考え、相談し、テストする場となっています。あなたもお気軽にご利用ください。

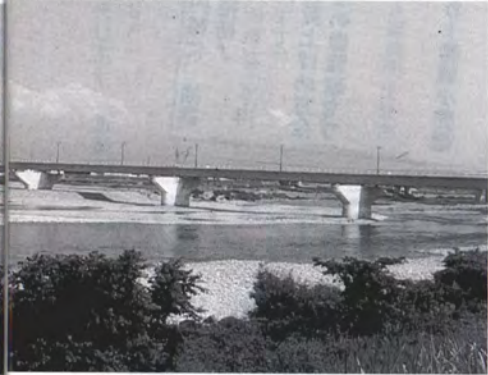


レポーターは、
井上智津子(富山市)さんです。

★レポーター募集

「レポーターがやりたい」「県政のあんな所、こんな所を見てみたい」。このような方は、県庁広報課までご連絡ください。

(☎0764・31・4111)



ちがうとくアートな街づくり 富山土木事務所

富山土木事務所は、富山中部高校の前の総合庁舎の二階にあります。所管区域は、富山市、上新川郡、婦負郡からなり、県内八土木事務所の中では最大の規模となっています。

「遊ぶ街づくり」 「アンバランスのバランス」設計

ここでは、県の三大政策の一つである「魅力ある郷土づくり」の担い手として、「魅力ある都市づくり」「雪の克服」「道路網の整備など、数多くの目標を持って事業を進めています。

では、具体的な事業内容を紹介します。まず、最初に私が行ったのは五福公園です。ここは少し前まではグラウンドだけだったのが、今では枯山水なども作られ、とっても楽しい公園に変身しました。なんとなく歩きたくなるそんな感じの散歩道です。

次に行ったところは開通したばかりの婦中大橋です。途中、とても素敵なお土産がなかったので、休憩して説明を聞きました。利用台数は計画していた四千台を、すでに上回っているとのこと。そして、婦中大橋を後にして今度は産業展示館の奥にある「ふれあいばし」を見に行きました。この橋は、右岸左岸の材料を

を違った石にして左右非対称という「アンバランスのバランス」を醸し出しています。昔は機能だけを重んじてましたが、最近では、機能の他に潤いを考えて「遊ぶ街づくり」に取り組んでいるということです。

雪が降れば、午前2時から見回り……

そして最後に大きな除雪車を見せてもらいました。なんといってもこれからの季節、富山で一番気になるのが雪。事務所の人たちは、雪が降ると泊まり込んで午前二時頃に見回りをし、除雪の必要があれば午前三時頃から作業を始め、通勤・通学の時間に合うように心掛けています。私たちが暖かい所で寝ている間に、寒い所で大変だと思えます。そこで私たちに何か協力出来る事があるかなと思って聞いてみました。

すると、路上駐車をしないこと、除雪した後の道路に雪を捨てたりしないことという簡単な答えが返ってきました。また、除雪した後の道路の破損など事故につながるような情報があればどんどん連絡してほしいとのこと。

取材に行く前までは、なにげなく通っていた所がいろいろと考えて作られていたことを知り驚きました。また、私たちが安全にそして便利に生活出来るのも、知らない所で、事務所の人たちの苦労があるからだを知ってとても感謝しました。

新湊市

「雨がザーザー降ってきて、まるかいてチヨン、まるかいてチヨン」絵かき唄じゃないけれど、鶴や亀、牡丹に松に宝舟、色あざやかな絵が次から次にできていく。

細工かまぼこはゲージツ品

「細工かまぼこは色どりが大切だから、きれいでないと。」と越後さん。それにしても、どの字もどの絵も同じ大きさ、同じ模様。ほとんど狂いが無い。「五十年もかいたればね。でも、最初はなかなか絞り出せんだよ。三、四年である程度できるようになるわ。一人前になったと思つたのは十年たつてやね。」オシドリなど複雑なものはこの人にしかできない。



越後正男さん(65)は、かまぼこに細工を始めて半世紀。もう、この人の右に出る者はいないというかまぼこ界の最長老だ。右手には着色したすり身を入れた絞り出し袋、左手には型抜きされた白いかまぼこ。袋の先から字や絵が生まれてくる。ケーキのデコレーションと同じ要領だ。色は、ピンク、黄、紫、茶、黒、オレンジ、緑、白の八色。こんなにあつたかなー。

24時間、新港フェリー

「こは、新港の先端、越の潟。自転車に乗つた中・高生がやってくる。ここから先は海なのに……」。向こうの先端、堀岡までフェリーが出てくるのだ。皆、自転車もろとも舟に乗り込んでいく。それも無料で！ならば乗ってみねば



新湊市の概要

面積 33.01平方キロメートル
人口 40,771人 (10月1日現在)

日本海時代をリードする港湾都市。昭和43年に開港した富山新港は、アルミ、木材等の工場が立地する臨海工業港となっている。

10月の曳山祭りは、江戸時代の粋を今に伝える13本の曳山が練り回される。ステンドグラスの「かぐら橋」は新名所となっている。



なるまい。ボート、岸壁を離れた舟は、立山連峰を仰ぎながら出発。剣岳が真正面。なんといい眺め！と思つていたら、もう着いてしまった。所用時間はたったの五分七十七メートル

このフェリー、昔からあるわけではない。越の潟一堀岡間は、かつては陸続きで県道が通つていたのだが、新港を作るために切断された。それでは、ここの人々の生活が大変不便になる、というわけで十五年前に定期船が就航したのだ。一日百二十三便で、延べ千二百人と三百

台の自転車を運んでいる。一時間に二往復、しかも二十四時間運航なのだ。これは、飲んで遅くなつた人のためでなく、三交替制の工場で働く人のため。何しろ道路がわりの生活航路なのだから。距離は短いけれど、やっぱり海。冬はしけるし、三、五月には霧で視界が悪くなり、欠航になることもあるとか。

舟の中には、通勤・通学の人に交じつて、ソ連人もチラホラ。新港フェリーは、ちよつぱりエキゾチックな市民の足だ。

一年の計は マラソンにあり

ゴオーン、ゴオーン。バーン!!除夜の鐘が響く中、ピストルが鳴る。午前〇時。新年の幕開けとともに約八百名のランナーが一斉に放生津八幡宮を飛び出す。恒例、新湊元旦マラソンは、今度で二十五回目を迎える。

「心の中で一つのけじめがつかますからね。今年は何をやるかと考えながら走っています」と言うのは、檢物和広さん(38)。これまで二十四回、唯一の第一回目からの連続出場者だ。



「中学三年の頃、野球仲間と走るのが好きな先輩がいて、毎日毎日アイスクリームを賭けて競争したんです。向こうは長靴に作業衣。にもかかわらず、とてもかないませんでした。ちよつぱりその時、元旦マラソンが始まり、皆で出たん

です。」

走るのが得意で、高校時代は陸上競技で結構なりました。私にとつて走ることは人生の窓口です。おかげで色々な人と出会えました。」奥さんとの出会いもマラソンがきっかけとか。



十年ほど前には、四十度近くの熱を出し、医者制止もきかずにみぞれの中を走つたことがある。「ここでやめれば大切な物を失うような気がしたんです。これだけは続けたかったから。」大晦日は、午後八時頃からウォーミングアップを始める。元旦マラソンは四・七キロ。檢物さんの足なら二十分あまりなのに随分念入りだが、これも大事なセレモニーなのだそう。子供と一緒に走るのが夢だった檢物さん。今は、二人の子供と元旦に向けて走り込んでいる。どこへ出かけていても大晦日には必ず帰る。元旦マラソンは、一年のけじめでもあるのだ。

10月16日～11月15日

10月18日

ポランティアシンポジウム
富山県駅伝競走大会



10月19日

都市緑化月間講演会

10月20日

知事のましまわり、語るつどい
(大山町)



10月21日

防災行政無線基本構想策定委員会

10月22日

一日部長

10月23日

特産王国フェスティバル
(テクノホール・25日)
埋蔵文化財センター竣工式

10月27日

農業基盤整備検討委員会

10月30日

リゾート基本構想策定委員会
杉山寧展開会式
(近代美術館・12月13日)



11月2日

県功労表彰式

11月4日

日中国好15周年記念式典

11月6日

一日庁議

11月9日

知事のましまわり、語るつどい
近畿大学水産施設立地調印式
(新湊市)

11月13日

はなの大阪'87いきいきとやまパフォーラム



インフォメーション・プラザ

「うるおい環境とやま賞」

募集

住民の心に「ゆとり」と「やすらぎ」をもたらす「うるおい」のある環境を形成しているすぐれた景観や地域の誇り、シンボルとなっている施設などを募集します。

◆応募方法／市町村・県庁窓口に添え付けの台紙に応募票、対象物件の写真を付け応募してください。

◆応募期限／十二月十五日(火)

◆応募先／市町村の企画担当課

※詳しくは、県庁企画調整室へ



ウッドリウム富山

ウッドクラフト教室

◆日時／十二月二十二日(土) 午後一時三十分

◆作る物／色紙がけ

◆材料費／七百元

※詳しくは、ウッドリウム富山
(☎0766・56・1570) まで



人権週間●講演と映画の会

十二月四日～十日は人権週間です。人権擁護の正しい理解のため、講演と映画の会を開催します。

◆日時及び場所

十二月七日(月)午後一時三十分

富山県民会館四〇一号室

十二月八日(火)午後一時三十分

高岡市役所八〇二号室

◆内容

講演／「ひと」らしく生きる

広島修道大学 江嶋修作氏

映画／「帰郷物語」

※詳しくは、県庁県民生活課へ

県税事務所 休業のお知らせ

期間／12月29日～1月3日(日)
※年末に納税される方は、お近くの金融機関をご利用ください。

日	曜	場 所	時 間
3	木	入善町役場前	10:00～15:30
5	土	富山駅前	10:00～16:00
//		高岡駅前	10:00～15:30
6	日	黒部市メルシーショッピングセンター前	10:00～15:30
7	月	砺波市役所前	10:00～15:30
10	木	立山町役場前	10:00～15:30
12	土	富山駅前	10:00～16:00
//		高岡駅前	10:00～15:30
13	日	富山西武前	10:00～16:00
19	土	富山駅前	10:00～16:00
//		高岡駅前	10:00～15:30
20	日	富山市中央通り	10:00～16:00
26	土	高岡駅前	10:00～15:30
//		富山駅前	10:00～16:00
27	日	高岡駅前	10:00～15:30
//		富山西武前	10:00～16:00
28	月	富山駅前	10:00～16:00
//		高岡駅前	10:00～15:30
30	水	富山駅前	10:00～15:30
//		富山市中央通り	10:00～15:30
//		高岡駅前	10:00～15:00

住宅情報

〔太閤山住宅団地の宅地分譲〕

ゆとりあるマイホームづくりをお求めの方には最適です。

◆一区画平均面積

二百八十平方メートル

◆分譲価格

四万六千九百円／平方メートル

◆問い合わせ先

太閤山住宅団地建設事務所

(☎0766・56・0221)

〔優良宅地取得資金〕

県、または住宅供給公社が造成した住宅団地の宅地を購入される方への資金融資です。

◆融資限度額

二百五十万円

◆償還期間

二十年以内

◆融資金利率

年四・七パーセント

〔富山県特別住宅分譲制度〕

富山県住宅供給公社で、雪に強い住宅様々を特にお手頃価格で販売する。雪に強い住宅様々を特にお手頃価格で販売する。雪に強い住宅様々を特にお手頃価格で販売する。

〔地域優良木造住宅の〕 割増融資

住宅金融公庫及び県の「住みよい家づくり資金」の融資を受け、耐雪型・断熱構造の木造住宅を建設する場合、住宅金融公庫から最高二百万円の割増融資が受けられます。

〔住みよい家づくり資金〕

雪に強い家づくり、住みよい家づくりのお手頃にする富山県住みよい家づくり資金の融資条件が改善され有利になりました。

◆融資限度額

新築 三百二十万円

改良・中古改良 二百万円

◆償還期間

新築 二十年以内

改良・中古購入 十年以内

◆融資金利率

年四・七パーセント

※住宅金融融資について詳しくは、富山県住宅供給公社(☎0764・32・5131)へお問い合わせください。

と・や・ま・ギ・ネ・ス・ス・ポ・ツ・ト

TOYAMA GUINNESS SPOT 8

災害安全県

富山県は、災害の少なさでも全国でトップレベルです。
火災発生件数は、昭和六十年(二百五十七件)、六十一年(二百七十一件)と二年連続全国最少。今年も十月末現在で二百二十件と全国一の少なさです。
 また、昭和五十年から十年間の有感地震の回数は合計十四件。これは石川県(七件)に次いで二番目の少なさで、全国平均(百二十七件)と比べてみても、地震に対する安全性がわかります。

昭和六十三年版「富山県民手帳」は、日記編(百十二ページ)と資料編(八十八ページ)の二分冊となっています。
 日記編には、行事予定表、富山歳時記、日記など、また資料編には富山県の歩み、都道府県及び市町村の主要な機関、県内の観光・文化財、スポーツ施設などのほか身近な生活情報が掲載してあります。
 ふるさと富山を知るミニ事典としても便利です。
 ●申込先／富山県統計協会(県庁統計課内)または市町村統計主管課
 ●定価／一冊三百八十円



富山県の刊行物

ごあんない

『富山県民手帳』

相談窓口のごあんない

県政については

- ・県民相談室 富山市新総曲輪1-7(県庁内) ☎(0764)31-4111代 31-3131(県民電話)
- ・高岡地方県民相談室 高岡市赤祖父211(総合庁舎内) ☎(0766)21-9411
- ・魚津地方県民相談室 魚津市新宿10-7(総合庁舎内) ☎(0765)24-5311
- ・砺波地方県民相談室 砺波市幸町1-7(総合庁舎内) ☎(0763)33-5151

消費生活については

- ・消費生活センター 富山市安住町7-18 安住町第一生命ビル内 ☎(0764)32-9233
- ・消費生活センター高岡支所 高岡市本丸町7-1 本丸会館内 ☎(0766)25-2777

暴力・サラ金などについては

- ・困りごと相談所 警察本部防犯少年課 ☎(0764)33-8080
 - ・覚せい剤・サラ金相談 警察本部生活保安課 ☎(0764)41-8904
 - ・暴力団ゼロ110番 警察本部捜査第二課 ☎(0764)42-0110
- このほか各警察署でも受け付けています。

— 見てください・聞いてください —

N NEWS-PAPER
新聞広報

TV テレビ広報

R RADIO
ラジオ広報

新聞広報

- ・北日本、富山、読売、北陸中日 毎週第2土曜日 「県からのお知らせ」 毎月最終土曜日 「みんなの県政」
- ・朝日、毎日 毎月第2、最終土曜日 「県からのお知らせ」

テレビ広報

- ・北日本放送 毎週日曜日 AM8:00~8:30 「こんにちは富山県です」
- ・富山テレビ放送 毎週日曜日 AM9:00~9:30 「110万人のひろば —クイズ/フォーカス/イン—」

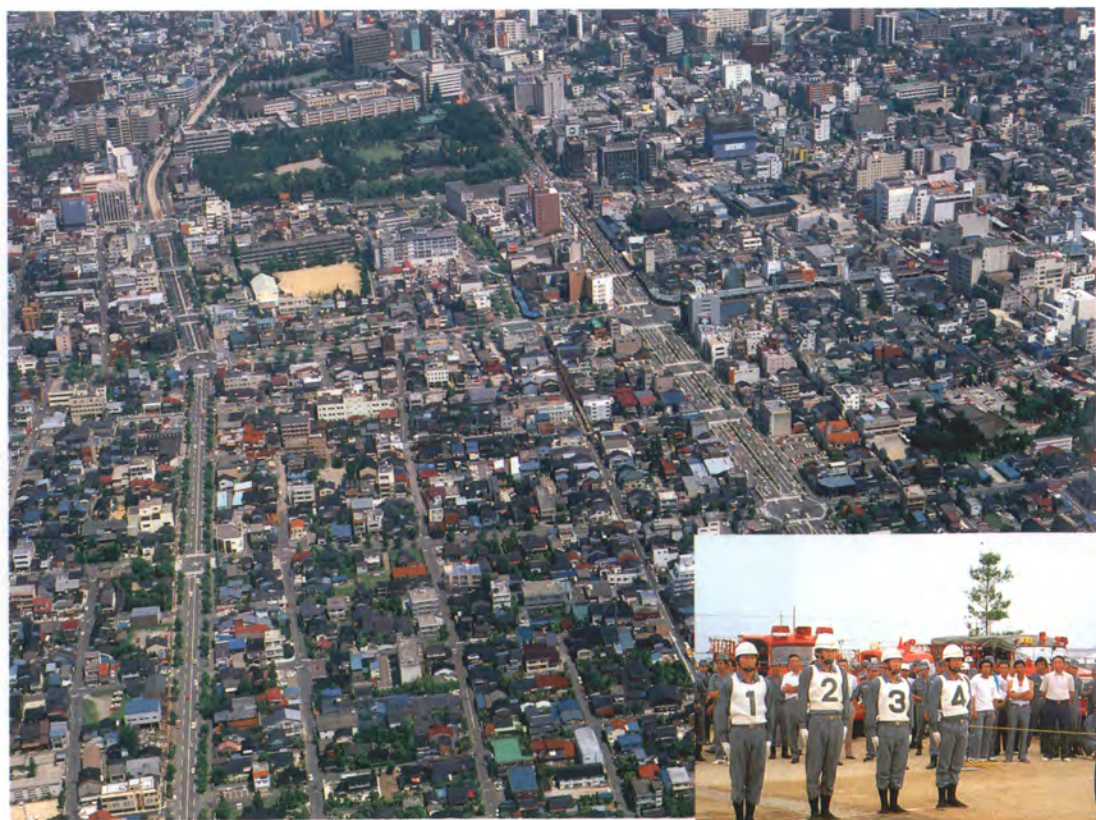
ラジオ広報

- ・FMとやま “ふれあいホットライン” 県内各地からホットな話題をクリアなサウンドでおとどけます 毎週月~金曜日 AM9:30~9:35

編集後記

★今月号の表紙は「あかりのアート展」。かわいい女の子をいれての撮影となったのですが、まだ一歳半。なかなかいいことを聞いてくれません。
 暗い部屋であかりがついたりきえたりして、しかもこわい顔をしたおじさんがいるものだから、ついには泣き出してしまっ始末。
 なんとか写真は撮れたのですが、女の子には迷惑な話だったかもしれません。

どうもごめんなさいね。
 ○イメージディレクター会議で、高野悦子さんから「富山ファンクラブの結成」という提言がありました。富山ファンが意外と多いとか。食物や自然風土が好きというよりも、富山と良い人間関係を結んだ人こそが、ファンになつていくのだそうです。



富山県消防操法大会



白くて、あつたかい、 ごちそうどやま

立山連峰に抱かれて、
とやまはいま、白いふところ。
冷たく、寒い分だけ、
ハートはめいっぱい、あつたかい。
にぎわい、唄い、語りあう。
いきいき富山、冬の旅。
海の幸も、いまが舌妙……………。
白いふところに抱かれて、
あなたは、ひととき「冬の詩人」。



立山山麓スキー場開き

12/15 火 10:00~
~県営ゴンドラ・極楽坂・あわすの三スキー場リフト無料開放

いきいき富山「日本海なべ祭り」

1/15 金~17日
~高岡古城公園・直径二mのジャンボ鍋三つに富山湾の辛を煮こんだ「なべ祭り」

とやまスノーピアード'88

1/15 金~2/7日
~富山市城址公園他「左義長まつり」「雪のふれあい市」「雪像・氷像ショー」など、ビッグな雪まつり

利賀・そば祭り

2/12 金~14日
~利賀村村営グラウンド他・秘境の里の手打ちそばや濁酒で温まりながら楽しむ「雪のカーニバル」

宇奈月温泉雪のカーニバル

2/6 土~7日
~宇奈月温泉街他・雪上花火に興をうち、闇に浮かぶ雪像群に心を燃やす、雪と炎の祭典

いきいき富山自作ソリ競技大会

2/20 土 12:00~
~県営ゴンドラスキー場・手作りソリで「スピード」「デザイン」の奇抜さを競うユーモアあふれる大会

**いきいき富山
冬の旅観光キャンペーン**
'87.12/15(火) ▶ '88.3/15(火)

